

## 学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立松溪中学校

記録者 渡邊 麗、佐藤 伸彦

開催日時	令和7年2月17日(月)16時00分～17時40分
開催場所	松溪中学校 校長室
出席者(委員)	小松校長、檜枝会長、恵羅職務代理、石井委員、望月委員 渡邊委員、目黒委員、飯島委員、村木委員、武井委員、佐藤委員
出席者(学校)	田崎副校長
傍聴者人数	0名

## 会議内容(次第順)

## 【報告事項】

1. 会長より
2. 学校長より
4. 学校報告

## 【協議事項】

3. 学校評価及び教育調査結果について

## 主な意見

## 【報告事項】

1. 会長より
  - ・先日、私立の小中一貫校を見学する機会があり、子どもの自由な活動の中で深い学びができていることに感心しました。
2. 学校長より
  - ・今週の金曜日(2月21日)は都立高校の一次試験があります。今年の入試の特徴は、都立高校の受験希望が少なくなっていることです。
  - ・先週の土曜日(2月15日)は新入生保護者説明会を開催しました。現在、来年度の新1年生は3学級、新2年生は4学級、新3年生は3学級になると予測しています。
  - ・次回の会議では、本日配付した来年度の教育課程、学校経営計画等の案について、ご意見をいただきたいと考えています。
4. 学校報告(別紙資料参照)

## 【協議事項】

3. 学校評価及び教育調査結果について
  - \* 最初に学校長が各調査の結果の中から肯定率が低い項目について学校内で検討したことを説明し、その後協議しました。
  - ・英語の少人数授業は、数学のように能力別のクラス分けにしていない理由を知りたいです。
  - ・英語の授業は、得意な子と不得意な子のバランスが良いクラスにすることで、得意な子に教えてもらえるようにしています。その方が力がつきやすいと考えています。

- ・先生を対象とした調査結果から、先生は自分の担当している教科には自信を持っているが、ワークライフバランスなどの項目から自分の生活には自信がないように見えます。
  - ・自分の生活についての肯定率が低いのは、先生は現状を仕方がないことと捉えていると考えます。
  - ・教員にとっては、部活動指導の負担感が大きいと感じています。できればやりたくないと考えている教員が多く、頼まれるので仕方なくやっていると感じています。しかし、部活動指導を生きがいに感じている教員も一部いると思います。
  - ・部活動指導の地域移行を早く進めたいと考えます。しかし、地域の人が指導をしても教員が全く関わらないわけにはいけないので、負担にはなると思います。
  - ・部活動指導を地域に移行する動きはありますが、地域にその基盤がないため、まずは地域の力を育てていく必要があると思います。
  - ・中高生の部活動は、日本が伝えてきた文化として捉えることもできるため、簡単にやめることはできないと思います。勉強以外にいろいろな文化に触れることは大切だと思いますし、続けていくべきだと思いますが、学校以外のところで進めていくべきだと思います。ただ、それをどうしていくかの方針が定まっていないのが現状だと考えます。
  - ・地域のボランティアだけでは、なかなかできない現状がありますので、民間に委託すべきだと考えます。
  - ・部活動指導を民間に委託するには、大きなお金が必要となっています。
  - ・部活動に使うお金はないわけではなく、お金の使い方の優先順位の問題だと考えます。区のお金の使い方が硬直化していると考えています。
- 
- ・あそび市での先生の負担感は、どうやったら軽くなるのかと考えました。
  - ・現状では、生徒ボランティアを募っても足りないため、部活動の一環としても参加を促しています。その結果、部活動を担当している先生が関わることになっています。
  - ・あそび市での生徒の活動は、10年くらい前に生徒会の子ども達がやりたいという提案から始まったものです。やりたいという生徒がいるかどうかを大切にしたいと思います。
  - ・コロナ禍であそび市での生徒の活動がなくなったため、今の生徒は先輩がどのようなことをやっていたかを知らないと思います。だから、やりたいという気持ちや活動につながる動きが少ないのではないかと思います。
  - ・生徒達のやりたいという気持ちを大切にしていきたいと思います。
  - ・あそび市を少し大きくしすぎているのではないかと考えます。見直した方が良いと思います。今年は保護者に声をかけても、あまり参加者が集まりませんでした。募集する際、参加することでどのような負担があるのかも知らせた方が良いと思います。
  - ・あそび市に関わった先生の中には、当日、家族も連れて参加し、楽しかった、良かったという方もいました。負担を感じている先生ばかりではないと考えます。
  - ・地域行事に学校の職員が参加するのは当然という考えもあります。しかし、来られない人には無理はさせていないです。
  - ・今の生徒は、ボランティア活動に参加することが多いので、更に増えてほしいと思います。

#### 次回の会議日程

日時	3月10日(月)16時00分から
会場	松溪中学校 校長室